

「となりの高村さん展」開催にあたって

高村^{こうらん}光雲が下谷区谷中から本郷区駒込林町 155 番地に引っ越してきたのは、明治 25 年のことです。以来 117 年間、千駄木（駒込林町）の地に居住してきました。その頃、高村家の南隣は川島彦次郎家の敷地で、イモなどの作物を栽培していたようです。大正 6 年に実業家藤田好三郎がその土地を購入し、大正 8 年に建物を完成させました。さらに大正 12 年の関東大震災直後に、安田家が藤田邸を譲り受けましたので、高村家と安田家のお隣同士のお付き合いが始まったのは実に 86 年前にさかのぼります。

すでに高名な木彫家であり東京美術学校教授であった光雲は、気さくな人柄で近隣の人々に親しまれていました。届け物をいただくと、そのお盆に彫刻をしてお返ししたというエピソードが伝わっています。光太郎は長男ながら家督を弟の豊周^{とよちか}にゆずり、徒歩数分のところにアトリエを構えました。夕食時にお惣菜などを届けるのは、豊周の長男規^{ただし}少年の役目で、作りかけの彫刻作品が置かれ、外壁が黒く塗られたアトリエはお化け屋敷のように映ったそうです。そこでは人見知りな智恵子の姿が人々に記憶されています。豊周は洗練された鍍金作品で人間国宝に選ばれました。

トンボ採りに夢中になったり、ベーゴマを持って町中を転戦した少年時代の規さんは、おのずと町の変遷を記憶にとどめました。のちに写真家としてコマース写真の世界で活躍しますが、町の何気ない風景をもたくさん撮られて貴重な記録になっています。

昨年、旧安田楠雄邸で開催された「名工永徳斎と名勝旧安田楠雄邸展」で人形の撮影をお願いしたことから、あらたにお付き合いが始まり、今回の展覧会が実現しました。多くの方々のご来場をお待ち申し上げます。

【高村家の人々】

高村 光雲（嘉永 5 年～昭和 9 年）

木彫家。東京美術学校教授。文久 3 年、11 歳の時に仏師高村東雲に弟子入りし、のち高村家を継ぐ。明治維新の廃仏毀釈の風潮の中で木彫は衰退の一途をたどったが、光雲は木彫一筋、西洋の写実主義を取り入れ新風を吹き込んだ。代表作「老猿」は重要文化財に指定されている。上野公園の西郷隆盛像や皇居前広場の楠木正成像も光雲の代表作。

高村 光太郎（明治 16 年～昭和 31 年）

彫刻家。詩人。高村光雲の長男として東京下谷で生まれる。東京美術学校彫刻科卒業。ロダンに傾倒。明治 39 年、欧米に留学。明治 42 年帰国後は詩作、評論、彫刻分野で多彩に活躍。大正 3 年、智恵子と結婚。智恵子没後、詩集「智恵子抄」はロングセラーとして読み継がれている。昭和 20 年 4 月千駄木のアトリエが焼失して岩手に疎開し、農耕自炊生活。昭和 27 年十和田湖畔の裸婦像完成。

高村 智恵子・旧姓長沼（明治 19 年～昭和 13 年）

画家。福島県安達郡の裕福な造り酒屋に生まれた。日本女子大卒業後画家を志し、「青踏」創刊号の表紙を飾った。大正 3 年光太郎と結婚。昭和 4 年に実家が破産、一家離散になったことが機になり精神を病む。昭和 10 年、南品川のゼームス坂病院に入院。入院後、色彩豊かな紙絵作品を制作、その数、千数百点に及ぶ。

高村 豊周（明治 22 年～昭和 47 年）

鍍金家。歌人。東京芸術大学教授。高村光雲の三男。東京美術学校鍍金科卒業。歌をたしなみ、芸事を好む粋人だった。昭和 2 年、帝展に新設された工芸部門で特選となり、以後 3 年連続特選。のち鍍金部門で人間国宝に。また、歌人として 4 冊の歌集を刊行した。

高村 規（昭和 8 年～）

写真家。日本大学芸術学部卒業。高村豊周の長男であり、光雲の孫、光太郎の甥にあたる。コマース写真の世界で活躍する傍ら、光雲、光太郎、智恵子、豊周の作品の撮影と顕彰に努めた。特にコンピュータを駆使して作品の立体感を表現することに定評がある。

東京都指定名勝 旧安田楠雄邸庭園

（財団法人日本ナショナルトラスト保護資産）

「となりの高村さん展」会場の旧安田楠雄邸は、大正 8 年に竣工した近代和風住宅です。施主は豊島園を開園した実業家藤田好三郎ですが、大正 12 年の関東大震災直後に安田財閥の安田善四郎が譲り受け、その後 70 年間大切に住み継いできました。平成 8 年、当主の安田楠雄氏の逝去に伴い、文化財として保存活用するために免税団体の財団法人日本ナショナルトラストに寄贈されました。その後、東京都の名勝に指定され、建物の修復を経て、平成 19 年 4 月から水曜・土曜の週二日、一般公開されています。

財団法人日本ナショナルトラストの会員になりませんか。

財団法人日本ナショナルトラストは、設立以来 40 年間、地道に各地の文化遺産や自然遺産の保護に努めて参りました。現在では保護資産として世界遺産の白川郷合掌民家 2 棟、千駄木の旧安田楠雄邸、京都北白川にある W・M・ヴォーリズ設計の駒井家住宅など、文化財を保存公開し多くの方に体験し楽しんでいただいております。他にも全国各地にヘリテージ・センターを開設し、地域の文化遺産や自然遺産に親しめるようになっていきます。

これらの活動は、多くの会員の皆様のご理解とご協力によって支えられています。どうぞ、ご入会し、活動をサポートしていただければ幸いです。

《個人会員》

入会金 500 円

年会費（4 月から翌年 3 月）4000 円 ※コース割引（年度末年齢満 24 歳以下）2000 円

旧安田楠雄邸に備え付けの入会申込書または、直接、日本ナショナルトラストに資料をご請求ください。



【お申込・お問い合わせ先】

財団法人日本ナショナルトラスト

〒113-0024 東京都文京区西片 2-18-16

TEL: 03-6303-1110 FAX: 03-3818-1165

ホームページ: <http://www.national-trust.or.jp/>

E-mail: info@national-trust.or.jp